

報道関係各位

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン×フェリシモ
子どもが学べる機会を贈るサンタになろう！
チャリティーチケット購入であなたもネパールの子どもたちのサンタクロースに

社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

子どもたちのための民間の国際援助団体（NGO）の社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン（理事長：上野昌也／理事・事務局長：渋谷弘延、以下 SCJ）は、株式会社フェリシモ*1（本社：兵庫県神戸市、代表取締役社長：矢崎和彦）が実施するチャリティー活動「HAPPY CAPS（ハッピーキャップス）」との連携により、ネパールの子どもたちへの教育支援を実施します。

「HAPPY CAPS」は、「世界中がサンタクロースでいっぱいになり、多くの人が想像をふくらませ、その想いをもち続けることによって、世界をより良いものにしていきたい」という願いのもと、フェリシモが、企業と SCJ を含む各 NGO 団体に呼びかけて実現したものです。

「HAPPY CAPS」には 12 の支援先団体が設定されています。プロジェクトに賛同されたかたは、1 口 500 円のチャリティーチケットを専用ウェブサイト (<http://feli.jp/f/happycaps/>) で購入します。購入金額は、購入者が支援先として選択した支援先団体に全額寄付されます。なお、購入者には協賛企業が提供するプレゼント賞品が抽選で当たります。チャリティーチケットの販売期間は 11 月 15 日～2011 年 1 月 15 日までです。

SCJ は、12 ある支援先団体の一つとして設定されており、「子どもが学べる機会を贈るサンタになろう」というテーマのもと寄付を募っています。集められた寄付金は、SCJ により、ネパールの子どもたちへの教育支援に活用されます。

ネパールでは、15 歳以上で読み書きのできる人の割合は 6 割以下であり、また、初等教育の就学率は 8 割未満にとどまります（日本の就学率は 100%）。落第や退学率の高さも課題となっており、入学してから 5 年生まで進級している割合は 6 割にしか及びません。しかも、これらのデータは全国平均であり、都市と農村、カースト間の格差が著しいネパールでは、低カーストや貧困地域にある子どもたちの教育状況の改善が大きな課題となっています。

SCJ は、日本人スタッフ駐在のもと、1992 年からネパールの子どものための支援活動を展開しており、「すべての子どもを学校へ」を合言葉に、小学校教育のアクセスや質の向上を目指し活動に取り組んでいます。



SCJ の教育支援を受けるネパールの子ども

※1 株式会社フェリシモ

ダイレクトマーケティングの専門社として、全国を商圏として事業を展開。社会貢献活動に積極的に取り組んでおり、「フェリシモの森基金」や「フェリシモ地球村基金」、「トリビュート 21 基金」など数多くの基金活動や社会文化活動を展開している。

■セーブ・ザ・チルドレンとは

1919 年設立。数少ない団体にだけ認められた、国連経済社会理事会 (UN ECOSOC) の NGO 最高資格である総合諮問資格 (General Consultative Status) を取得しています。現在、世界で 29 カ国のそれぞれ独立した組織が、パートナーを組み、世界最大のネットワークを活かして、120 カ国以上で活動を展開しています。